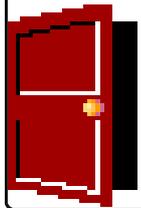


《読書活動の楽しさと大切さを伝えたくて》



読書活動への扉を開く！

桑村小学校 令和4年4月18日 文責 渡邊

今回は、前回のお便りを読んでいただいた保護者の方から感想が寄せられましたので、それを紹介するところから始めたいと思います。

◆保護者の声から

子供がゲームをやり始めてから寝る前の読み聞かせが減っていき、今ではその習慣もなくなっています。高学年になると、絵本では物足りないし、長文だと飽きてしまったりと、読み聞かせに丁度いい本が分かりません。PTA総会で校長先生の読書に対する熱い思いが伝わり、子供と一緒に本を読む時間を作りたいなと思いました。
(5年生保護者)

感想をお寄せいただきありがとうございました。保護者の方が言われるように、高学年の児童という発達段階では、「読み聞かせ」よりはお子さんと保護者の方が共に読書を楽しむ時間を設定することがよいかもかもしれませんね。

さて、PTA総会で、「校長室に図書を並べていますので、お時間がありましたらどうぞいでみてくださいね」とお伝えしたところ、早速PTA会長の漆田さんが寄っていただきました。保護者の皆様、どうか学校にお越しの際は校長室にお寄りください。



【読書について語る校長】



【校長室に寄ってくださった漆田さん】

さて、次に榎本博明著『読書をする子は〇〇がすごい』（日本経済新聞出版本部2021年5月）を参考に、「読解力」について考えてみたいと思います。

「学力の基礎に読解力が深く関係しているが、学力以外にも、私たちのものの見方や感じ方にも読解力が深く絡んでいる。

職場において人間関係のトラブルが非常に多くなっていることや、クレーマーが増えていること、さらには小学校でも暴力事件が急増し続けていることが深刻な社会問題となっているが、そこにも読解力の低下が関係しているとみることができる。

(中略)ともすると見逃されがちなのが、そうした文章の読解力が日常のコミュニケーションにも影響するということである。文章の読解力が欠けていると、人の言うことや人の態度の意味するところをうまく読み取ることができない。その結果、相手の意図を曲解したり、相手の気持ちを汲み取りそこなったりしてしまう。つまり、読解力は、学業成績に影響するのみならず、日常の人間関係にも大いに影響する。(『読書をする子は〇〇がすごい』榎本博明著 日本経済新聞出版本部2021年5月より)

読解力をどう捉えるのか？文章を正しく読み取る力はもちろんのこと、他にも大きな力が働くことを榎本氏は下記のように述べています。

「例えば、小説を読みながら登場人物の気持ちに感情移入して、一緒になって悔しかったり、楽しい思いを味わったり、憤りを感じたりしているうちに、人の気持ちに対する感受性が高まる。登場人物が意外な場面で怒り出したことから、そういう受け止め方をする人もいるんだなと思ったり、登場人物の落ち込みに対して、こんなことでそこまで落ち込むんだと思ったりする経験を通して、自分以外の視点に対する想像力が高まっていく。

評論を読み、日本人の行動パターンや心理的特徴の文化的背景を知ったり、著者の経験や価値観に触れたりすることで、日頃接している人たちが取る態度の意味が分かったり、どうしたら分かり合えるかのヒントがつかめたりする。

コミュニケーションのすれ違いの背景には、読書によって他者の視点に触れ、他者の立場やものの見方・感じ方に想像力を働かせる経験が乏しいといった事情があるのではないか。」（『読書をする子は〇〇がすごい』榎本博明著 日本経済新聞出版本部2021年5月より）

読解力を文章を正しく読み取る力とともに、コミュニケーション力と結び付けて考えているところは「なるほどな」と思わせるところではないでしょうか。

桑村小学校の子供たちは、とても素直で優しいです。朝の挨拶がとてもよくできます。「おはようございます。」とどの子も大きな声で言えてすばらしく思います。また、6年生をはじめ上学年の子供たちが、1年生に優しく接している場面も多く目にします。本当にすばらしい子供たちです。

朝、西門で登校指導をしていると本校「学校応援団」団長の松井さんと大竹警察官駐在所の高田さん、前「学校応援団」団長(現マルベリー代表)の鈴木さんがお越しになり、子供たちを見守ってくださいます。1年生の保護者の方もお子さんと共に坂道を登ってきてくださいます。子供たちが素直なのは、こうした保護者や地域の皆様方の温かな支えがあるからだと思います。

自然環境もすばらしいですね。日本の四季の美しさをいっぱい感じられる恵まれた環境にあります。この時期、新緑の山々は、なんとも言えない美しさです。生命の息吹を感じます。耳をすますと、小鳥のさえずりが聞こえます。花々のなんとも言えない甘い香りも温かな風に運ばれてきます。幸せをいっぱい感じます。

是非、素直な子供たちの感性を「読書活動」につなげたいものです。また、「読書」に関する感想や意見を寄せてくださいね。お待ちしております。

----- 切り取り線 -----

「読書活動の扉を開く」（4月18日号）を読んだの感想

()年()